

メッセージ題「主の声を聴く」 <先週の講壇より>

「しもべは聞きます。主よ、お話しください」 I サムエル 3:9 【口語訳】

先日、ゴッホの絵画「ひまわり」にトマトスープをひっかけた、という事件がありました。その日、環境団体のメンバーである若い女性2人が、ロンドンのNational Galleryに展示されていたゴッホの「ひまわり (Sunflowers)」の絵に突如としてトマトスープを投げかけ、環境問題に目を向けるようにと声高に叫び、大きな注目を集めました。幸いにも絵はガラスで保護がされていたため、絵自体には被害はなかったとのことです。

私はそれを見て、「これほどのことをしないと彼女たちの主張に誰も耳を傾けてはくれないのだろうけども、でもこの方法は違うんじゃないか」と思ったのですが、私の妻は「こんなに若い子たちが地球環境を憂いて必死で抗議するなんて…」と涙を流しておりました。見方によって物事はずいぶん違うのだなと、つくづく感じたことです。

人の正義とは、いったい何が正しいのか、よく分かりません。一方から見れば正しくとも、もう一方から見れば正しくない。人間の正義、価値観というのは、そういうことが多々あるのではないのでしょうか。では誰が何が基準なのか、誰の何の声を聴くべきなのか。そう、聖書は主の声を聴き、従うということを教えています。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2022年10月30日

オレンジ郡
キリスト教会

礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org
4872 Bishop St, Cypress, CA 90630
Facebook: オレンジ郡キリスト教会
ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「それは平和の計画であつて、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。」

エレミヤ 29:11

☆ 集会案内 ☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40
ブレイク : 10:45-11:00
バイスタ : 11:00-12:00
みふみ会 : (水) 10:00-
定例祈禱会 : (水) 18:30-

